

自然と文化科「室津・石の宝殿・鶴林寺バスツアー」活動記録

日時	2024年3月8日(金) 8:00 ~ 18:30	担当者
場所	大阪梅田～阪神～第二神明～加古川・姫路バイパス～ 室津散策 ～道の駅「みつ」(昼食)～ 石の宝殿 ～ 鶴林寺 ～第二神明～大阪梅田	文：谷殿 美佐恵 写真：溝部 浩二
備考	参加者数：60名(1班16名、2班17名、3班15名、4班12名) リーダー(敬称略)：全体；溝部・山上 1班：大森 2班：玉尾(ひ) 3班：永野 4班：鶴 バス：2号車1・2班 1号車3・4班	



定刻通り8時にバス出発。窓から見える曇り空、天気回復を願う。
まず初めに大沢代表のご挨拶、続いて企画委員作成のクイズで頭をひねる。そして、玉尾(洋)さん編集の動画で本日のツアーの予習に励む。今日は、それぞれの場所で観光ガイドの人の案内もあるとのこと、より一層心が弾む。やがて、車窓に海・牡蠣いかだが見え、室津に到着した。

室津

・**室津港**：天平のころ、行基が開いた隈まれた入江の中は波静かで、まるで室のづけられた。江戸時代には、北前船、参勤で港が一杯になった。今日は静かに沢山の漁船が停泊していた。

・**室津の町並み**：令和元年「北前船寄港地・船主集落」として日本遺産に認定。北前船貿易で莫大な富を築いた豪商の家が保存されている。(嶋屋・魚屋 等) かつては、「室津千軒」と言われ非常に栄えた宿場町であった。

・**賀茂神社**：賀茂別雷神を祀る。五棟の社殿の屋根は流麗な檜皮葺。境内のソテツは日本最北端の野生ソテツ群として県の天然記念物に指定されている。



播五泊の一つ。三方を山に囲内のように「室の泊」と名交の船、朝鮮通信使の船等



石の宝殿

・生石(おうしこ)神社のご神体。500tを超える巨大な亀山石の石造物で、背面に突起がついている。「日本三奇」の一つ。何の為に作られたかは、いまだ不明。神殿説、大王の石槨説など諸説ある。神秘的な雰囲気漂う。

鶴林寺

・聖徳太子開基伝承を持つ寺院。太子信仰が高まった鎌倉・室町時代に全盛期を迎えた。時代の流れで衰微せざるを得なかったが、戦乱・落雷による建物の焼失はなく、古くからの貴重な文化財が多く残っている。「播磨の法隆寺」とよばれている。

(所感)

ガイドさんや宮司さんの案内で色々な時代にタイムスリップした気分になった。また、「石の宝殿」では、岩盤に囲まれた狭い空間で巨石と対面し、そのパワーに圧倒された。早春の播磨路を存分に楽しみ、その歴史をしっかりと学んだ一日であった。

